

事務事業名	不登校児童生徒支援事業(旧名:不登校児童生徒適応指導事業)				会計	一般会計		
					事業種別	政策	開始	終了
課等名	学校教育課	係等名	学務係					
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり					
	施策	22	義務教育の充実					

目的	対象(誰・何を)	不登校にある児童・生徒		対象指標	指標名及び単位		24年度数値
	意図(どういう状態にするか)	学校に登校できる			不登校児童生徒数		91
	向上させたい上位施策の成果指標	不登校の児童生徒の数(小学校)					

目標	種別	指標名及び単位		24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	適応指導教室へ通室できるようになった児童生徒数		10	11	10	5	
	成果指標	自校へ登校できるようになった児童生徒数(不登校のうち、指導の結果登校できるようになった児童生徒数)		30	36	30	20	
定性目標								

事業概要

不登校または、学級に通えない児童生徒の個別支援を行う。
 1 適応指導教室(中間教室)を設置し、適応指導員を配置して不登校児童・生徒の支援を行う。
 2 飯田長期欠席児童生徒支援ネットワーク協議会を設置し、関係機関と連携しながら不登校対策を実施する。
 3 児童生徒の自立を促す体験活動や教職員・保護者に向けたカウンセリングマインド研修を実施する。

24年度事業内容	事業内容		名称		活動指標	
	1 追手町小学校、飯田東中学校に不登校児童生徒の適応指導教室を設置 (1)適応指導教室に適応指導員を配置 (2)適応指導教室の実施 2 教育支援指導主事を配置し、不登校家庭、生徒への直接的な指導を強化 3 体験活動による自立支援 4 学校教職員、保護者対象のカウンセリングマインド研修会の開催 5 飯田長期欠席児童生徒支援ネットワーク協議会の設置	1 適応指導教室設置数 (1) 適法指導員配置数 (2) 適応指導教室への通室者数 2 教育支援指導主事配置数 3 体験活動参加者 4 開催回数 5 協議会開催回数	1 (1) (2) 2 3 4 5	2教室 2人 12人 6人 14人 6回 1回		

事業コスト	23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①	16,647	16,894	16,452	6,540	(県)笑顔で登校支援事業補助金(補助率1/2)
国庫支出金					
県支出金	50	0	69	0	
起債					
その他					
一般財源	16,597	16,894	16,383	6,540	
人件費計(千円)②	0		36		
正規職員所要時間			10		
臨時職員所要時間					
総事業費①+②	16,647	16,894	16,488	6,540	

事業内容・目標達成状況の振り返り

5つのアクションプログラム、教育支援指導主事の配置などにより、不登校児童生徒数を減少させることができた。

改革改善の考え方	①問題点	発達課題や二次障害などの処遇困難ケースが増加している。
	②改革提案	飯田長期欠席児童生徒支援ネットワーク協議会などにより、関係機関の連携強化による支援の更なる充実を図る。また、特別支援教育を充実し、二次障害などの予防に努める。